

見直し「AI」の社内開発と運用

VFXはNHKアートの「きれいのくに」

経済産業大臣賞

MPTA AWARDS 2022

一般社団法人日本映画テレビ技術協会（清原克明会長）は2日、東京国際フォーラムホールD5において「MPTA AWARDS 2022 第75回表彰式」を開催、技術開発賞および映像技術

賞などの表彰を行った。今回は映像技術賞、青い翼大賞、および経済産業大臣賞をレポートする。第25回経済産業大臣賞（日本映画テレビ技術大賞）は日本テレビAI社内開発チーム（日本テレビ）が受賞した。社内開発したAI業務支援システム「エイディ」は、日本テレビの番組制作や事前準備等、様々なシーン

で既に活用されている。AI学習に必要な事前の準備作業時間の大幅な短縮を図り、番組制作におけるCG表示作業の効率化、および映像監視の一部無人化、これまで実現できなかった生放送における背面CG合成など番組制作から送出業務までの幅広い現場の課題を社内要員だけで短時間かつ低コストで次々と解決している。経済産業大臣賞（日本映画テレビ技術大賞）は2回目の授賞となる。なお、今回の受賞以外にも「映像情報メディア学会技術振興賞進歩開発賞（現場運用部門）」、「放送文化基金賞 個人・グループ部門」放送技術協会第75回技術開発

賞、「日本民間放送連盟賞 技術部門 最優秀」の受賞4冠を達成している。同チームを代表して篠田貴之（技術統括局デスク）が「現在、テレビは放送だけでなく、配信にも注力しており、出口が増加する傾向にあります。このため、いかに映像を効率的に制作するかが非常に重要になっています。もちろん効率だけではなく、今世の中には個人が制作した映像があふれています。その中でプロの集団として、クオリティが高いものを作る必要があります。効率化とクオリティ、その両方を同時に追求できるのがエイディです。

幅広いシーンにおいて導入が可能なシステムですが、テレビを超え、ポーターを超えて、様々な業界でもエイディが活躍できるよう、更なる発展に向け、開発を進めてまいります」と述べた。

第75回（2021年度）映像技術賞は以下の通りジャンル/作品/受賞者。

【撮影】
▽劇場公開/孤狼の血 LEVEL2/加藤航平
▽TVドラマ/WOWOW連続ドラマW「いりびと〜異邦人〜」/日下誠（東映京都撮影所）
▽ドキュメンタリー/ETV特集「消えた技能実習生」/小嶋一行（NHK）
▽ニュース/がちゃこん〜近江鉄道の情景〜/杉森賢治（ytv Nextry）

【照明】
▽劇場公開/孤狼の血 LEVEL2/川井稔（アベックス）
▽TVドラマ/WOWOW連続ドラマW「いりびと〜異邦人〜」/池本雄司（東映京都撮影所）

【編集】
▽劇場公開/空白/田中博信、松浦大樹
【音声】
▽放送/第63回 輝く！日本レコード大賞/中村全希（TBSテレビ）、相馬敦（TBSアクト）
【美術】
▽劇場公開/祈り幻に長崎を想う刻/安藤篤
▽放送/青天を衝け/大河ドラマ「青天を衝け」

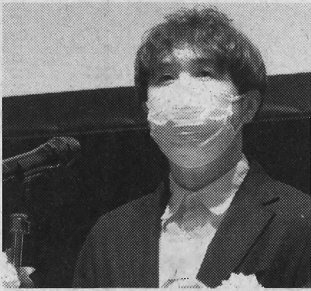
映像デザインチーム（NHK）
【OAG】
▽東京2020オリンピック/東京2020パナーチャルCG開発チーム（NHK）
また、学生を対象とする「第40回青い翼大賞」は、「レスポールが重た過ぎたんだろ」（撮影・照明技術 大倉望/日本大学芸術学部、「よもやま短編集」アニメーション技術）片山風花/多摩美術大学が受賞した。



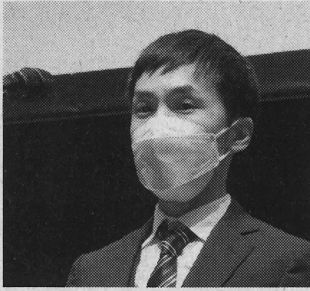
NHK・有本弘氏



日本テレビ AI 社内開発チーム



NHK アート・吉田秀一氏



NHK・伊藤崇仁氏

「きれいのくに」

「きれいのくに」

「きれいのくに」

(3) 令和4年11月9日 (水曜日)